

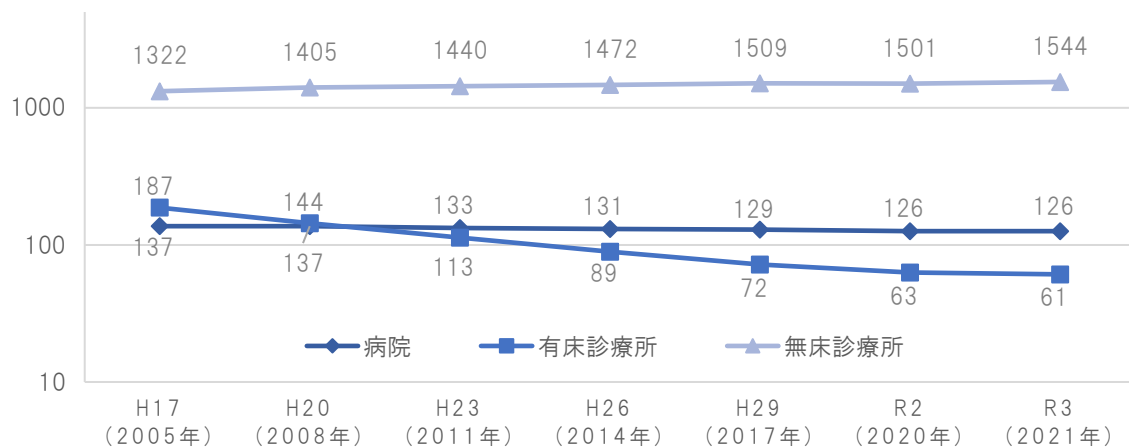
# 外来医療(外来医療計画)

## 第 1 現状(これまでの成果)と課題

### 1 医療施設及び外来患者の状況

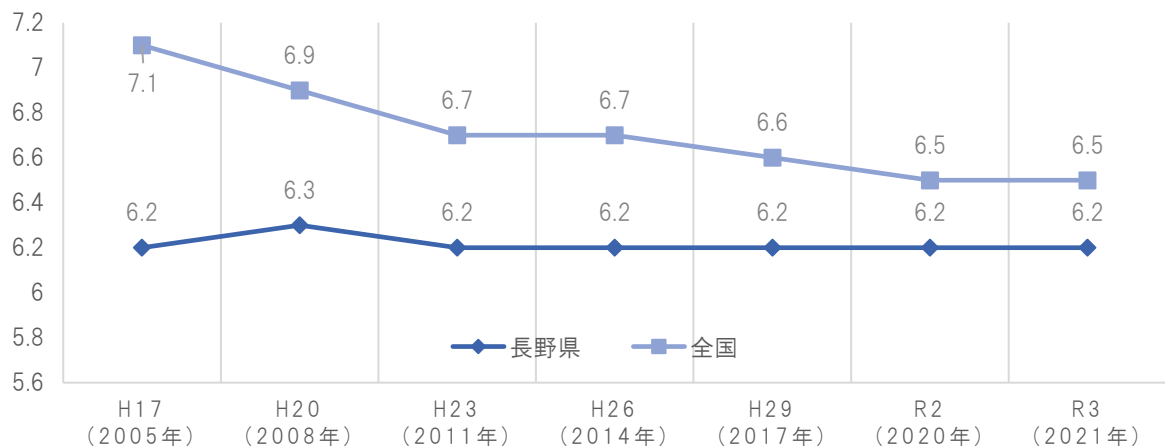
- 県全体の医療施設数の推移は、病院数は横ばい、有床診療所は減少、無床診療所は増加傾向にあります。人口 10 万人当たりの医療施設数の推移は、概ね全国的な傾向と同様です。
- 人口 10 万人当たりの医療施設数は、病院、診療所ともに県内の地域偏在等を背景として全国平均よりも少ない状況にあります。
- 人口 10 万人当たりの外来患者延数は全国平均より少ない状況にあり、特に診療所の外来患者延数と通院外来患者の対応割合は中山間地を多く抱える地域ほど少なく、病院において一般の外来診療も担っている状況にあります。医療資源そのものの充実を図っていく必要がある他、既存の資源の効率的な活用のため役割分担を推進することが求められます。

【図 1】県内の医療施設数の推移



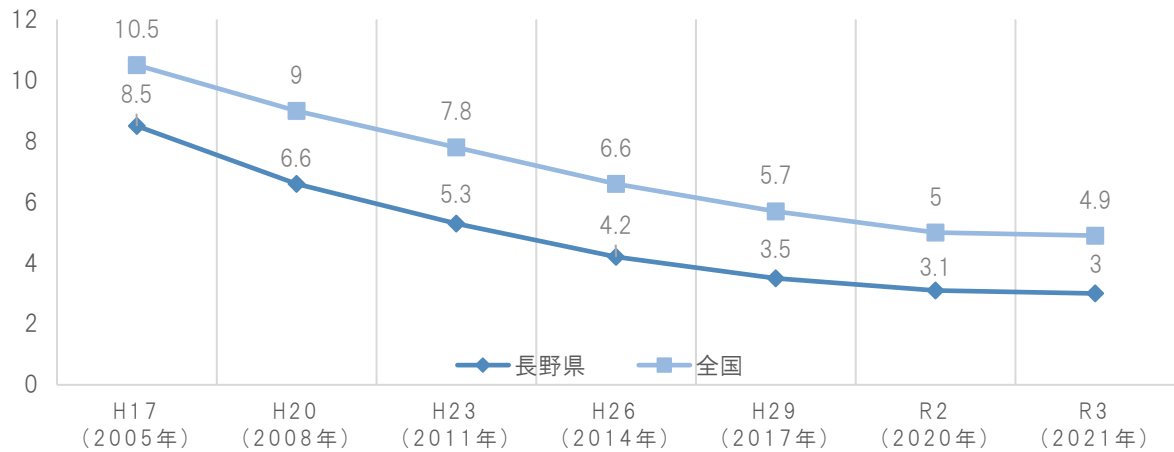
(厚生労働省「医療施設調査」)

【図 2】人口 10 万人当たり病院数の推移



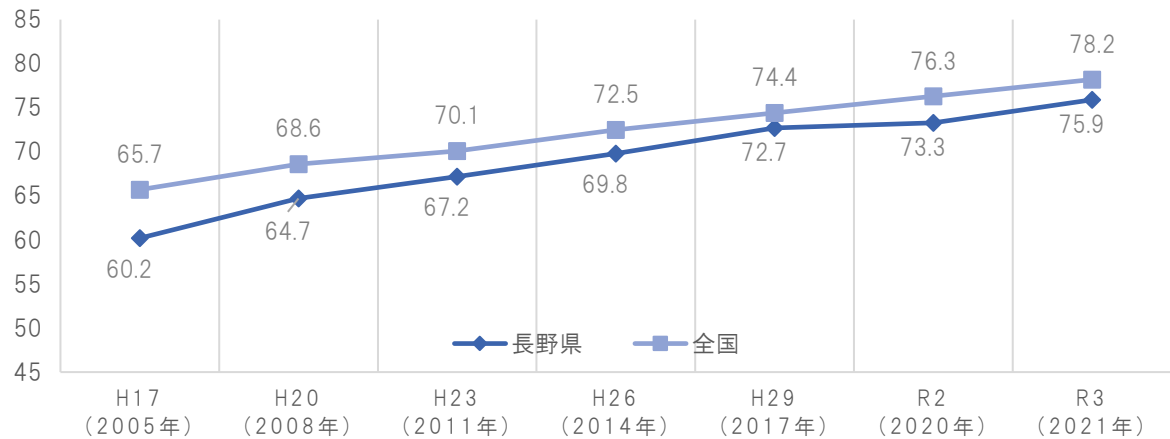
(厚生労働省「医療施設調査」)

【図3】人口10万人当たり有床診療所数の推移



(厚生労働省「医療施設調査」)

【図4】人口10万人当たり無床診療所数の推移



(厚生労働省「医療施設調査」)

【表1】圏域別医療施設数(令和3年10月現在)

[ ]は人口10万対

	全国	長野県	佐久	上小	諏訪	上伊那	飯伊	木曾	松本	大北	長野	北信
病院	8,205 [6.5]	126 [6.2]	14 [6.9]	16 [8.3]	11 [5.7]	10 [5.6]	9 [5.8]	1 [4.0]	26 [6.2]	2 [3.6]	34 [6.4]	3 [3.7]
一般診療所	104,292 [83.1]	1,605 [78.9]	179 [87.8]	117 [60.7]	138 [71.7]	130 [72.7]	131 [85.1]	20 [79.8]	377 [89.4]	50 [89.9]	404 [76.2]	59 [72.4]
有床診療所	6,169 [4.9]	61 [3.0]	4 [2.0]	9 [4.7]	5 [2.6]	3 [1.7]	3 [1.9]	0 [0.0]	16 [3.8]	1 [1.8]	18 [3.4]	2 [2.5]
無床診療所	98,123 [78.2]	1,544 [75.9]	175 [85.9]	108 [56.0]	133 [69.1]	127 [71.0]	128 [83.2]	20 [79.8]	361 [85.6]	49 [88.1]	386 [72.8]	57 [70.0]

(厚生労働省「医療施設調査」)

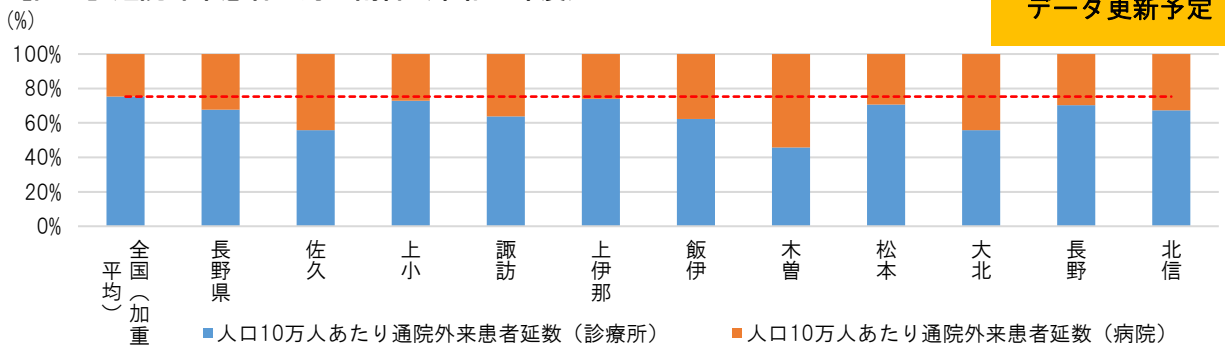
【表2】人口10万人当たり通院外来患者延数（回/月）

（）は全国を100とした値

		全国	長野県	佐久	上小	諏訪	上伊那	飯伊	木曾	松本	大北	長野	北信
H29	病院	24.6 (100.0)	29.6 (120.5)	39.5 (160.7)	24.2 (98.7)	33.1 (134.9)	22.2 (90.3)	33.2 (135.3)	31.6 (128.8)	28.0 (114.0)	36.9 (150.3)	28.1 (114.4)	30.3 (123.2)
	一般診療所	74.9 (100.0)	61.8 (82.5)	49.9 (66.7)	65.3 (87.2)	58.2 (77.7)	63.4 (84.6)	54.9 (73.3)	26.7 (35.7)	67.8 (90.5)	46.7 (62.3)	66.8 (89.1)	62.2 (83.0)
	合計	99.5 (100.0)	91.4 (91.9)	89.4 (89.9)	89.5 (90.0)	91.3 (91.8)	85.6 (86.0)	88.1 (88.6)	58.4 (58.7)	95.8 (96.3)	83.6 (84.0)	94.9 (95.4)	92.5 (93.0)
R3	病院		現在の数値は H29 レセプトデータから算出されたもの										
	一般診療所		R5.3 末データ更新予定										
	合計												

（厚生労働省「外来医療に係るデータ集（NDB データ集計値）」）

【図2】通院外来患者の対応割合（令和3年度）



（厚生労働省「外来医療に係るデータ集（NDB データ集計値）」）

【表3】人口10万人当たり時間外等外来患者延数（回/月）

（）は全国を100とした値

		全国	長野県	佐久	上小	諏訪	上伊那	飯伊	木曾	松本	大北	長野	北信
H29	病院	649.4 (100.0)	889.1 (136.9)	1268.8 (195.4)	507.3 (78.1)	1167.4 (179.8)	647.2 (99.7)	829.0 (127.6)	963.1 (148.3)	863.0 (132.9)	731.8 (112.7)	851.0 (131.0)	1278.7 (196.9)
	一般診療所	771.5 (100.0)	644.1 (83.5)	391.5 (50.7)	1072.0 (138.9)	464.3 (60.2)	684.5 (88.7)	802.8 (104.1)	81.1 (10.5)	920.9 (119.4)	887.0 (115.0)	441.5 (57.2)	240.7 (31.2)
	合計	1421.0 (100.0)	1533.2 (107.9)	1660.3 (116.8)	1579.3 (111.1)	1631.7 (114.8)	1331.7 (93.7)	1631.8 (114.8)	1044.1 (73.5)	1783.9 (125.5)	1618.8 (113.9)	1292.5 (91.0)	1519.4 (106.9)
R3	病院												
	一般診療所		データ更新予定										
	合計												

（厚生労働省「外来医療に係るデータ集（NDB データ集計値）」）

【表4】人口10万人あたり時間外等外来施設数（月平均施設数）

（）は全国を100とした値

		全国	長野県	佐久	上小	諏訪	上伊那	飯伊	木曾	松本	大北	長野	北信
H29	病院	5.1 (100.0)	5.4 (106.0)	6.7 (131.0)	7.2 (141.3)	5.2 (102.5)	4.6 (90.1)	5.9 (116.3)	* *	5.6 (110.2)	* *	5.0 (98.4)	* *
	一般診療所	27.0 (100.0)	30.2 (111.7)	25.7 (94.9)	33.0 (121.9)	27.9 (103.3)	31.2 (115.5)	30.0 (111.1)	28.6 (105.6)	38.0 (140.5)	39.6 (146.7)	26.8 (99.1)	15.6 (57.6)
	合計	32.1 (100.0)	35.6 (110.8)	32.3 (100.6)	40.1 (125.0)	33.1 (103.2)	35.8 (111.5)	35.9 (111.9)	* *	43.6 (135.7)	* *	31.8 (99.0)	* *
R3	病院												
	一般診療所												
	合計												

（厚生労働省「外来医療に係るデータ集（NDBデータ集計値）」）

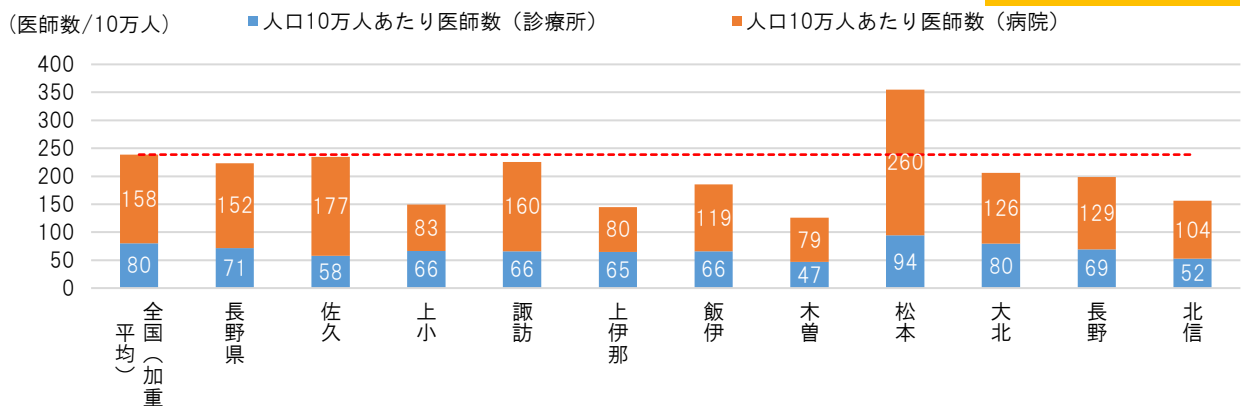
（「\*」印は秘匿マーク。原則として、施設数が1～3か所の場合）

## 2 一般診療所に従事する医師の状況

- 医師少数都道府県に位置付けられる本県では、人口10万人あたりの医師数も全国平均より少ない他、病院、診療所ごとの医師の勤務状況を比較すると、医師は一般診療所より病院で勤務している傾向にあります。
- 年齢別診療所医師数は、39歳以下が2.8%、40歳から64歳が57.1%と全国よりも低くなっています。一方で、65歳以上の医師数は40.1%と全国よりも高くなっており、平成24年以降、診療所医師の高齢化が進んでいます。
- 診療所の医師の主たる診療科は、内科が最も多く、整形外科、眼科、小児科と続いています。また県民へのアンケート結果によると、地域でより充実してほしい診療科として、皮膚科が最も多く、眼科、整形外科、耳鼻いんこう科と続いています。

【図3】人口10万人あたり医師数（令和2年12月現在）

データ更新予定



（厚生労働省「外来医療に係るデータ集（医師・歯科医師・薬剤師統計）」）

【表5】年齢別一般診療所医師数（令和2年12月現在）

	年齢	39歳以下	40～64歳	65歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	平均年齢
		実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	
全国	実数	5,362人	63,567人	38,297人	14,975人	11,580人	5,317人	6,425人	60.2歳
	割合	5.0%	59.3%	35.7%	14.0%	10.8%	5.0%	6.0%	
長野県	実数	42人	872人	613人	214人	180人	59人	160人	62.5歳
	割合	2.8%	57.1%	40.1%	14.0%	11.8%	3.9%	10.5%	

（厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」）

【表6】一般診療所医師の高齢化率

（人）

		項目	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和2年
全国	診療所医師数		100,544	101,884	102,457	103,836	107,226
	うち65歳以上医師数		28,190	30,645	32,624	34,967	38,297
	高齢化率		28.0%	30.1%	31.8%	33.7%	35.7%
長野県	診療所医師数		1,519	1,497	1,508	1,513	1,527
	うち65歳以上医師数		482	505	553	563	613
	高齢化率		31.7%	33.7%	36.7%	37.2%	40.1%

（厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」）

【表7】主たる診療科ごとの一般診療所医師数（令和2年12月現在）

（人）

総数	1,527	皮膚科	61	心臓血管外科	2	美容外科	5	麻酔科	12
内科	673	アレルギー科	2	乳腺外科	5	眼科	119	病理診断科	0
呼吸器内科	6	リウマチ科	3	気管食道外科	0	耳鼻いんこう科	68	臨床検査科	0
循環器内科	22	感染症内科	0	消化器外科	1	小児外科	1	救急科	0
消化器内科	25	小児科	77	泌尿器科	26	産婦人科	48	臨床研修医	0
腎臓内科	10	精神科	62	肛門外科	5	産科	0	全科	5
脳神経内科	8	心療内科	6	脳神経外科	21	婦人科	10	その他	4
糖尿病内科	15	外科	51	整形外科	125	リハビリテーション科	0	主たる診療科不詳	14
血液内科	0	呼吸器外科	1	形成外科	18	放射線科	1	不詳	15

（厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」）

【表8】住民が地域でより充実してほしいと感じている診療科（令和5年1月現在）

皮膚科	21.8%	脳神経外科	9.1%	リハビリテーション科	4.8%
眼科	19.4%	小児科	8.8%	歯科	4.3%
整形外科	17.6%	アレルギー科	8.4%	その他の診療科	2.2%
耳鼻いんこう科	16.9%	外科	8.1%	分からない	6.3%
内科	16.4%	泌尿器科	5.9%	特にない	21.0%
産科・産婦人科	16.0%	精神科	5.5%	無回答	4.0%

（医療政策課調べ）

### 3 外来医師偏在指標

#### (1) 外来医師偏在指標の算出結果

- 外来医師偏在指標は、全国統一の算定式、データにより二次医療圏ごとの診療所医師の偏在状況を相対的に評価する指標です。
- 外来医師偏在指標の上位 33.3%に該当する二次医療圏が外来医師多数区域とされ、本県では木曾、松本及び大北医療圏が外来医師多数区域となります。

【表 9】 外来医師偏在指標

データ更新予定

圏域（順位）	外来医師 偏在指標	偏在指標の算出に用いる係数				
		標準化医師数	人口(10万人)	外来標準化 受療率比	診療所外来 患者数割合	外来患者 流出入調整係数
全国	106.3	102,457	1,277.1	1.000	75.5%	1.000
長野県（30）	99.8	1,508	21.1	1.053	67.7%	1.001
佐久（168）	96.9	125	2.1	1.053	56.1%	1.041
上小（245）	86.0	130	2.0	1.042	73.0%	0.993
諏訪（178）	95.5	132	2.0	1.062	64.0%	1.020
上伊那（236）	87.7	121	1.9	1.046	74.2%	0.955
飯伊（175）	95.8	107	1.6	1.089	62.6%	1.003
木曾（89）	108.9	13	0.3	1.204	46.3%	0.740
松本（41）	123.6	399	4.3	1.021	70.9%	1.039
大北（19）	136.1	46	0.6	1.101	55.9%	0.913
長野（192）	94.1	381	5.5	1.043	70.4%	1.005
北信（288）	79.1	48	0.9	1.095	67.3%	0.927

#### （参考） 外来医師偏在指標の算出方法

$$\text{外来医師偏在指標} = \frac{\text{標準化診療所医師数（※1）}}{\text{標準化外来医療需要（※2）} \times \text{診療所の外来患者対応割合（※3）}}$$

※1 標準化診療所医師数：診療所に勤務する医師数を性・年齢階級別の労働時間を加味して補正したものの。

##### 【補正の方法】

$$\Sigma \text{性・年齢階級別診療所医師数} \times \frac{\text{性・年齢化級別平均労働時間}}{\text{診療所医師の平均労働時間}}$$

※2 標準化外来医療需要：各医療圏の外来患者数を性・年齢階級別構成を加味して、全国平均並みとした場合の患者数（人口 10 万人対）

##### 【補正の方法】

$$\text{地域人口（10 万人対）} \times \frac{\Sigma \text{性・年齢階級別人口} \times \text{全国平均外来受療率} / \text{地域人口}}{\text{全国平均外来受療率}}$$

※3 診療所の外来患者対応割合：地域の外来患者のうち、診療所で対応した患者数の割合

※4 患者の受療動向の考え方

圏域を超えて外来医療の提供を受ける患者については、平成 28 年度のレセプトデータに基づき、流出入率を標準化外来医療需要に乗じることで加味しています。

## (2) 外来医師多数区域となる地域での指標のとらえ方

- 外来医師偏在指標は、医療圏ごとに診療所の医師及び診療所で外来受診する患者の数等を基に算出しています。
- そのため、中山間地等を抱えており、診療所の数が少なく病院が外来医療の多くを担っている場合や、他圏域へ外来患者が流出している場合など、当該地域において医療資源が少ないこと等を要因として外来医師多数区域となる場合があります。
- そのため、外来医療の充実に当たっては、指標のみの画一的な判断ではなく、地域の実情を十分に判断することが必要です。

【表 10】 外来医師多数区域の状況

データ更新予定

圏域	診療所外来患者数割合	外来患者流出入調整係数
県平均	64.1%	0.964
木曾	46.3%	0.740
松本	70.9%	1.039
大北	55.9%	0.913

※診療所に対応する患者の割合：令和3年度に外来受診を行った患者のうち、診療所に対応した割合

※流出入係数：係数が1を超える場合は流入超過、1を下回る場合は流出超過

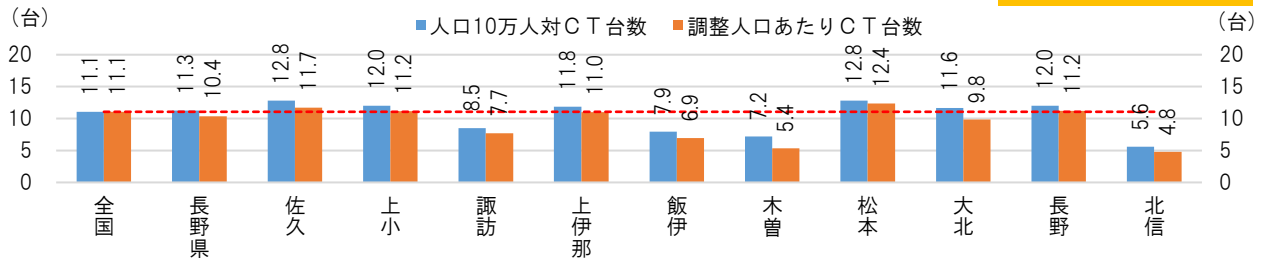
※県平均：10医療圏の単純平均を用いた

## 4 医療機器の効率的な活用

- 各医療機器の配置状況については、がんなど疾病ごとの医療提供体制の状況により、他医療圏と連携した医療を提供している場合、基幹となる医療圏において、集約的に医療機器が配置されている状況があります。

【図10】CTの人口10万人対台数と調整人口あたり台数（令和3年10月現在）

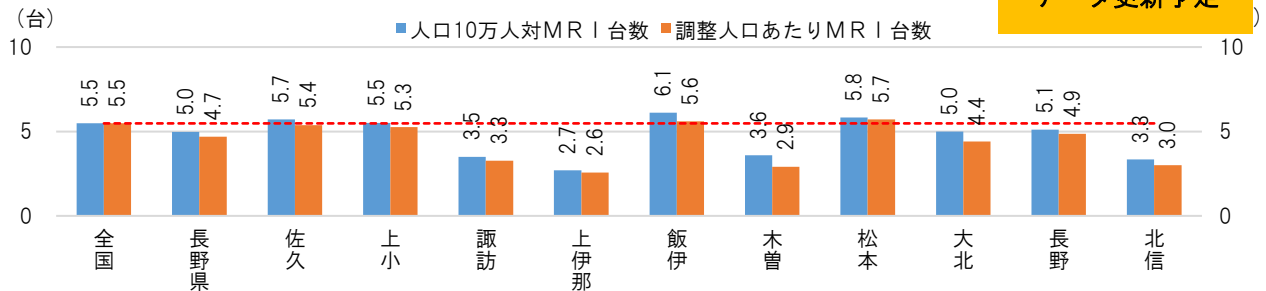
データ更新予定



（厚生労働省「外来医療に係るデータ集（医療施設調査）」）

【図11】MRIの人口10万人対台数と調整人口あたり台数（令和3年10月現在）

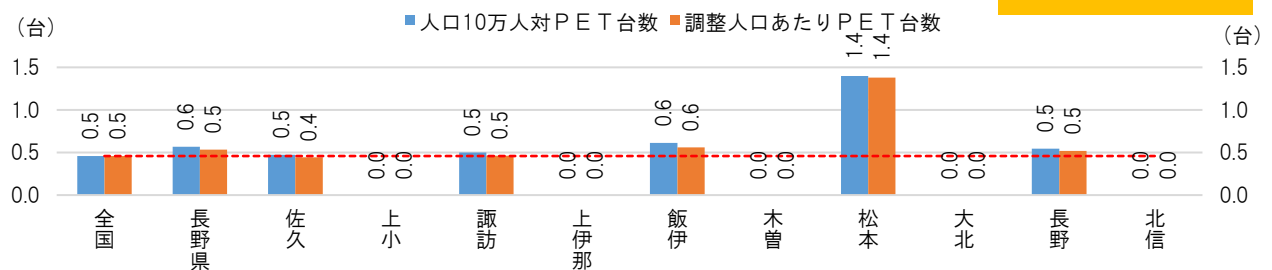
データ更新予定



（厚生労働省「外来医療に係るデータ集（医療施設調査）」）

【図12】PETの人口10万人対台数と調整人口あたり台数（令和3年10月現在）

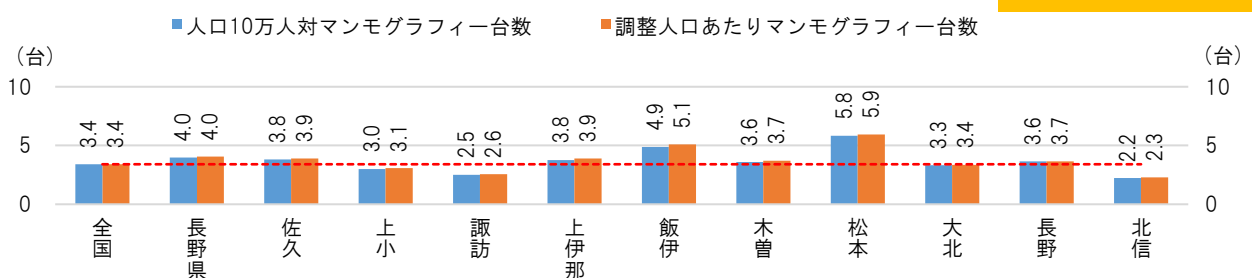
データ更新予定



（厚生労働省「外来医療に係るデータ集（医療施設調査）」）

【図13】マンモグラフィの人口10万人対台数と調整人口あたり台数（令和3年10月現在）

データ更新予定

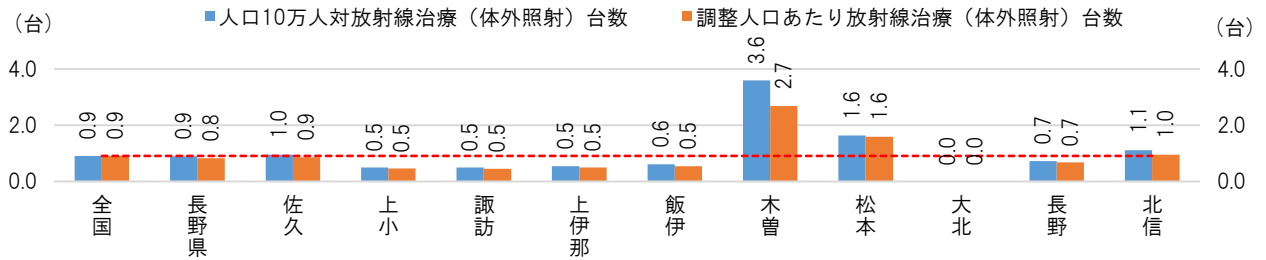


（厚生労働省「外来医療に係るデータ集（医療施設調査）」）



【図 14】放射線治療の人口 10 万人対台数と調整人口あたり台数（令和 3 年 10 月）

データ更新予定



（厚生労働省「外来医療に係るデータ集（医療施設調査）」）

【表 11】各医療機器の標準化検査率比（全国平均を 1 とした場合）

データ更新予定

	標準化検査率比				
	CT	MRI	PET	マンモグラフィ	放射線治療（体外照射）
長野県	1.09	1.06	1.06	0.98	1.09
佐久	1.09	1.06	1.08	0.98	1.10
上小	1.08	1.05	1.06	0.98	1.08
諏訪	1.10	1.07	1.08	0.98	1.10
上伊那	1.08	1.05	1.05	0.97	1.08
飯伊	1.14	1.09	1.09	0.96	1.13
木曽	1.34	1.24	1.27	0.97	1.34
松本	1.04	1.02	1.02	0.98	1.03
大北	1.18	1.13	1.16	0.99	1.20
長野	1.07	1.05	1.06	1.00	1.07
北信	1.17	1.11	1.13	0.98	1.17

（厚生労働省「外来医療に係るデータ集」）

（参考）調整人口あたり台数の算出方法

$$\text{調整人口あたり台数} = \frac{\text{地域の医療機器の台数}}{\frac{\text{地域の人口}}{10 \text{ 万}} \times \text{地域の標準化検査率比（※1）}}$$

$$\text{（※1）地域の標準化検査率比} = \frac{\text{地域の性年齢調整人口あたり期待検査数（※2）}}{\text{全国の人口あたり期待検査数}}$$

（※2）地域の人口あたり期待検査数

$$= \frac{\sum \left\{ \frac{\text{全国の性年齢階級別検査数}}{\text{全国の性年齢階級別人口}} \times \text{地域の性年齢階級別人口} \right\}}{\text{地域の人口}}$$